

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

資料1-1

(別添1)

協議会名: 犬山市地域公共交通会議

令和7年1月 日

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
あおい交通株式会社	栗栖・富岡線	コロナ禍において利用者が減少したが、移動が必要な人の交通手段として機能していた。その後、徐々に利用者数は回復傾向に転じており、高齢化や運転免許証自主返納の動きもあるため、今後ますますの需要増加が見込まれる。また、観光客も戻りつつあり、今後の継続運行の実施のためにも、様々な観点から更なる利用促進を図る。	計画通り適切に実施された	B 利用者数による年間目標値13,310人に対して12,877人の実績であり目標は未達成。【達成率:97%】 年間目標値を設定する際に、再編による減便(12便→10便)を想定しておらず、目標値としては未達成。しかし、買い物・通院等移動が必要な人の交通手段として一定の利用があり、年間利用者数は前年より増加している。(12,702人→12,877人)	【目標】 公共交通の総利用者数 11,680,000人/年 鉄道:名鉄各線の市内各駅乗降者数 路線バス:岐阜バス「リトルワールド・モンキーパーク線」「明治村線」 わん丸君バス:全路線 タクシー:犬山タクシー株の年間利用者数
	上野線			A 利用者数による年間目標値16,170人に対して17,713人の実績であり目標を達成。【達成率:110%】	【目標に対する考察】 コロナ禍における減少率は約20%減でとどまり、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していた。その後、徐々に利用者数は回復傾向に転じ、前事業年度では過去最高の乗車人数となった(116,185人)。しかし、令和5年12月の再編における全路線減便の影響により再度減少に転じた(110,819人)。主に夕方の時間帯を減便したため、通勤・通学での利用者が減少したものと考えられる。今後の継続運行実施のためにも、高齢化や運転免許証自主返納の動きにより需要の増加が見込まれる高齢者への対応だけではなく、通勤・通学やコロナ禍以降戻りつつある観光客への対応等、様々な観点から更なる利用促進を図っていく必要がある。
	今井・前原線			B 利用者数による年間目標値20,570人に対して19,948人の実績であり目標は未達成。【達成率:97%】 令和5年12月の再編で、夕方の時間帯が減便となり、通勤・通学での利用者減少につながった。	R1.10~R2.9 102,547人 R2.10~R3.9 94,201人 R3.10~R4.9 102,701人 R4.10~R5.9 116,185人 R5.10~R6.9 110,819人
	楽田東部線			B 利用者数による年間目標値5,720人に対して5,659人の実績であり目標を未達成。【達成率:99%】 鉄道駅へのアクセスが不便であるという課題があったが、再編により名鉄小牧線「田原神社前駅」にも接続し、利便性の改善に努めた。再編による減便(11便→10便)を想定おらず、目標値としては未達成だが、年間利用者数は前年より増加している。(5,125人→5,659人)	【改善策】 ・商業施設や観光施設等と連携し、わん丸君バス利用者に特典を提供できる取り組みを実施することにより、公共交通を利用するきっかけを作る。 ・時刻表や路線図を配布するだけではなく、バスで行ける施設などを積極的にPRし、利用促進を図る。
	善師野・塔野地線			A 利用者数による年間目標値17,270人に対して13,242人の実績であり目標は未達成。【達成率:77%】 令和5年12月の再編で、夕方の時間帯が減便となり、通勤・通学での利用者減少につながった。	・地域公共交通計画を策定したが、交通を取り巻く社会環境の変化が著しく早くなっており、より柔軟な対応が求められる。わん丸君バス以外の選択肢も含めて、公共交通の維持・確保・活性化に努める。 ・地域特性(道路幅など)により、わん丸君バスが運行できない地域もある。すべてバスでカバーすることは困難なため、タクシー車両の活用等を検討し、公共交通の利用促進を図る。
	内田線			A 利用者数による年間目標値10,010人に対して12,789人の実績であり目標を達成。【達成率:128%】	